

ホームページ作成道場 2

~ ……リンク先の設定

囲った部分をクリックすると、そのファイルへジャンプさせられる

~ ……文字の色

文字に色をつけられる。色名はタグ辞典のカラーページを見よう

<p>~</p> ……段落を表す

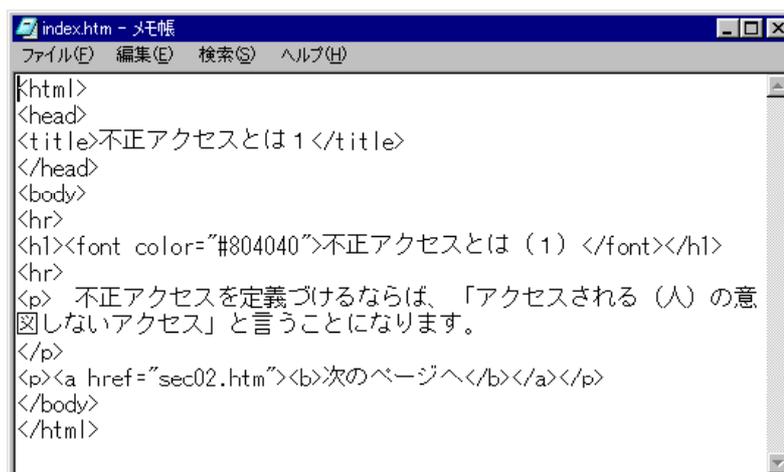
文章のまとめには必ずつける

1. index.htmをつくる

(1) [スタートメニュー]→[プログラム]→[アクセサリ]→[メモ帳]を選ぶ。

(2) 以下のようなプログラムを入力する。以下のことに気をつける。

タグは全て半角英語（直接入力モード）入力する。



```

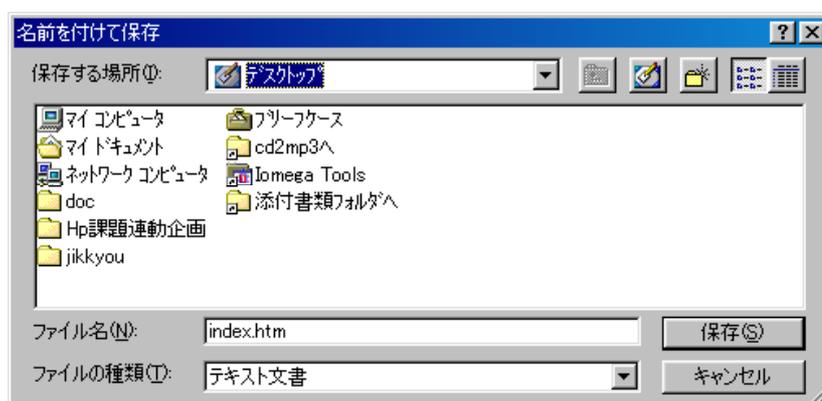
<html>
<head>
<title>不正アクセスとは1</title>
</head>
<body>
<hr>
<h1><font color="#804040">不正アクセスとは (1) </font></h1>
<hr>
<p> 不正アクセスを定義づけるならば、「アクセスされる (人) の意
図しないアクセス」と言うこととなります。
</p>
<p><a href="sec02.htm"><b>次のページへ</b></a></p>
</body>
</html>

```

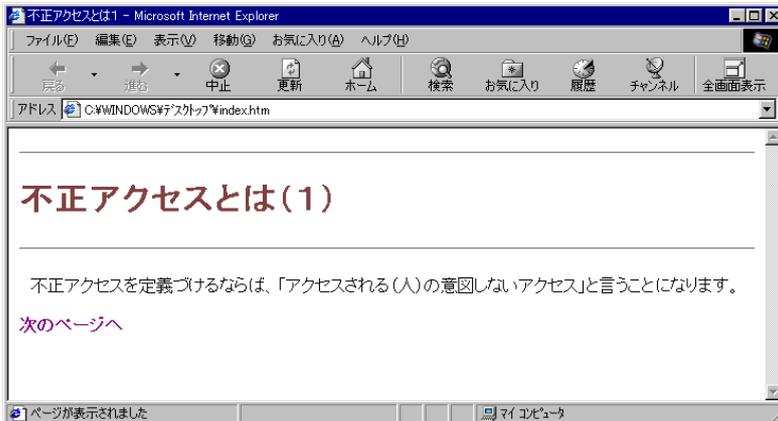
(3) [ファイルメニュー]→[上書き保存]を選ぶ。

(4) デスクトップを選び、**ファイル名をindex.htmにし**、[保存]ボタンをクリックする。

※このときも必ず半角英語入力で行うこと。

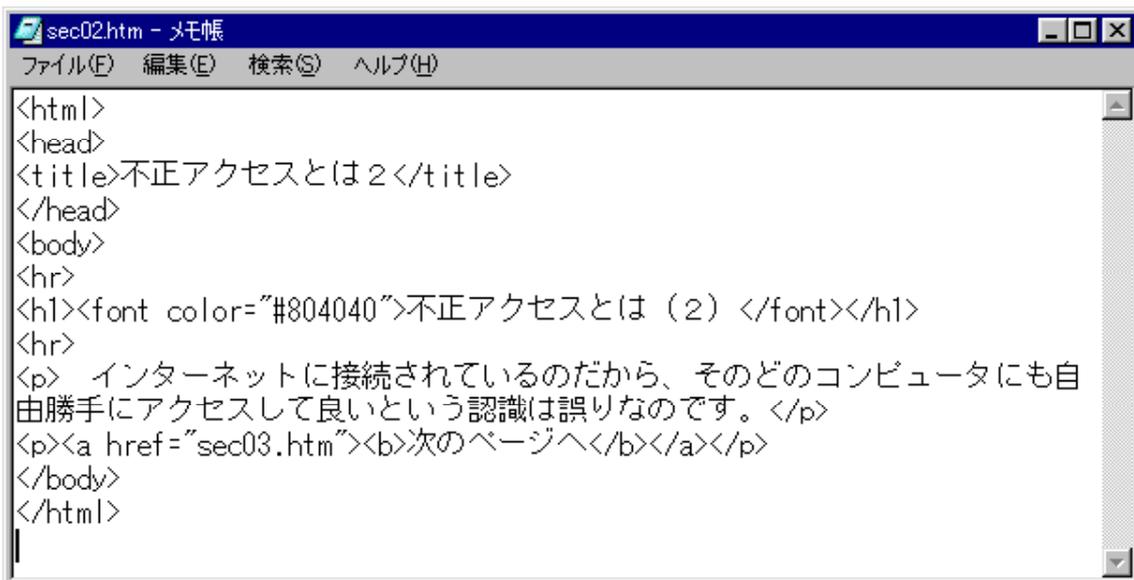


- (5) デスクトップ上にあらわれるindex.htmのアイコンをダブルクリックし、インターネットエクスプローラーを立ち上げる。



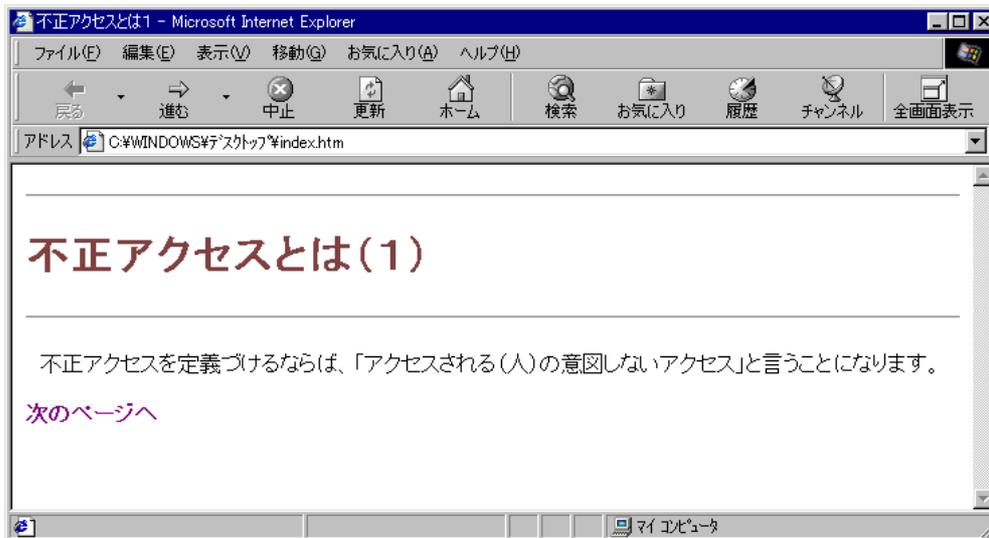
2. sec02.htmをつくる

- (1) メモ帳のウィンドウをクリックし、作業できるようにする。
 (2) [ファイルメニュー]→[新規]を選ぶ。
 (3) 次のタグをうつ。



- (4) [ファイルメニュー]→[上書き保存]を選ぶ。
 (5) デスクトップを選び、**ファイル名をsec02.htmにし**、[保存]ボタンをクリックする。
 ※このときも必ず半角英語入力で行うこと。

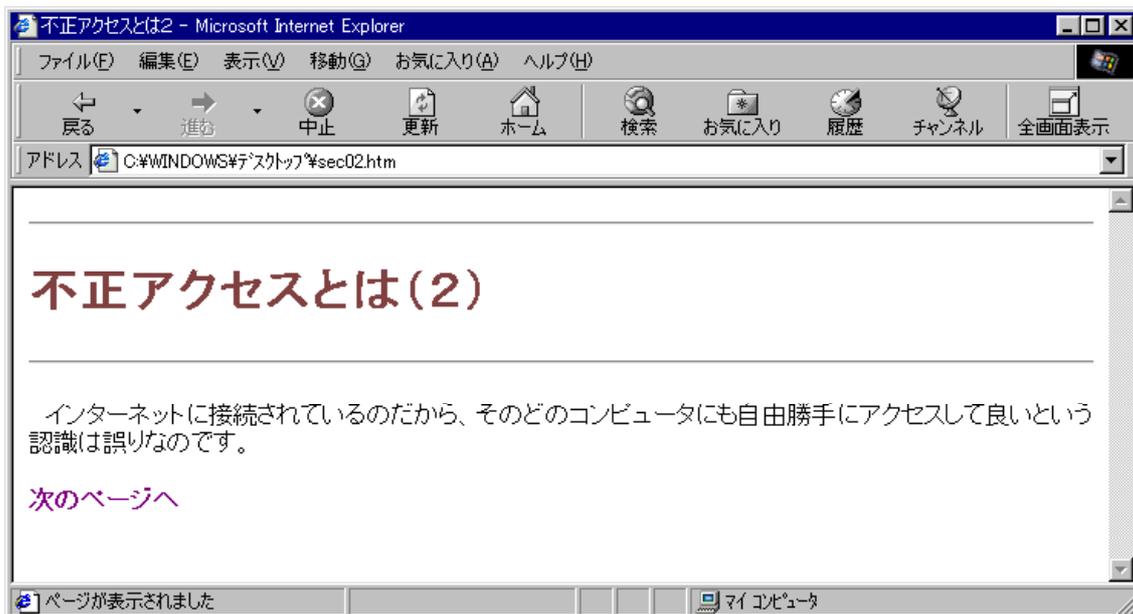
(6) インターネットエクスプローラーの画面に切り替える。



(7) [次のページへ]をクリックする。

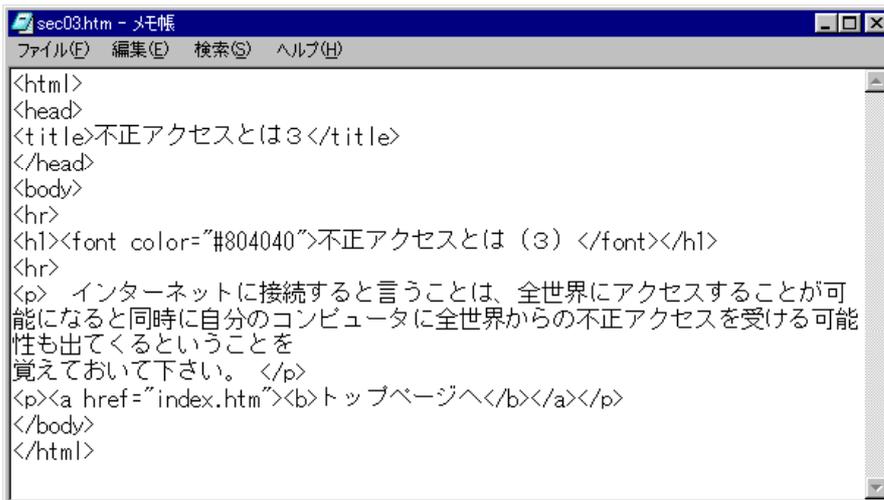
次のページへ

(8) 次のページが表示されればOK。表示されなければ、メモ帳の画面に戻り、タグを見直して修正し、上書き保存して、もう一度確認してみよう。



3. sec02.htmをつくる

- (1) メモ帳のウィンドウをクリックし、作業できるようにする。
- (2) [ファイルメニュー]→[新規]を選ぶ。
- (3) 次のタグをうつ。



```

sec03.htm - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 検索(S) ヘルプ(H)
<html>
<head>
<title>不正アクセスとは③</title>
</head>
<body>
<hr>
<h1><font color="#804040">不正アクセスとは (③) </font></h1>
<hr>
<p> インターネットに接続するということは、全世界にアクセスすることが可能になると同時に自分のコンピュータに全世界からの不正アクセスを受ける可能性も出てくるということを覚えておいて下さい。 </p>
<p><a href="index.htm"><b>トップページへ</b></a></p>
</body>
</html>

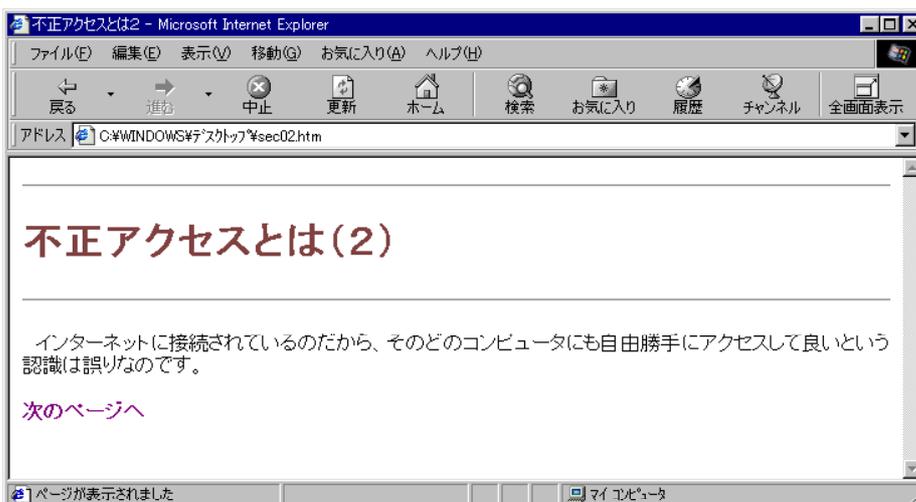
```

(4) [ファイルメニュー]→[上書き保存]を選ぶ。

(5) デスクトップを選び、**ファイル名をsec03.htmにし**、[保存]ボタンをクリックする。

※このときも必ず半角英語入力で行うこと。

(6) インターネットエクスプローラーの画面に切り替える。



(7) [次のページへ]をクリックする。



(8) 次のページが表示されればOK。表示されなければ、メモ帳の画面に戻り、タグを見直して修正し、上書き保存して、もう一度確認してみよう。



【完成ファイル】

ワンポイント・アドバイス！

HTMLのプログラムには大きく分けて次の2つの部分があった。

①ヘッダ部

タイトルなど、そのページの情報を書く部分。

②本文

<BODY>タグに囲われたページの内容。

本文もいくつかのブロックに分けて考える。そこで今回登場したのが<P>タグだ。

<P>~</P>で囲われた部分はいわゆる「段落」としてホームページ上では処理される。つまり、その文章を右寄せや左寄せなど死体場合には、段落ごとにされるのである。今回以降、文章はかならず<P>タグで囲って、文章のまとまりを明確にするプログラミングを心がけていただきたい。

<A>タグだが、これはHREF=""で、ジャンプ先をしていすれば良い。ここで大切なのはジャンプ先に指定する**ファイル名を間違えない**ことだ。1文字でも間違えるとクリックしても何も起こらない。そのときはメモ帳の画面に戻り、プログラムを修正し、上書き保存し、ブラウザで確認してみよう。ホームページを確認するときには



画面上の**[更新]ボタンをクリック**すると修正した部分が反映される。

.htm

プログラムには間違いはよくある。ねばりつよく修正していこう！

タグでは今回はCOLOR="色名"という追加命令が出てきた。このようにタグの中には、それに関係する追加情報を書けるわけだが、そういった追加命令を**オプション**という。

タグ辞典を見てもじつに多彩なオプションがあることに気づく。

タグだけでも次のような細かな指定ができる。

COLOR="色名" 色を指定する

FACE="書体名" 書体を指定する

SIZE="数値" 1~7までの大きさを指定できる。7が最も大きい。

文字の拡大では<H1>を思い出す人もいるかもしれない。しかし、<H1>を使うと、じつは**勝手に改行がされてしまう**のだ。ゆえに、<P>タグで囲ったような文章中で文字の大きさを変えたいようなときは必ずタグを使うことになるのだ。